

第6回 日本臨床検査学教育学会学術大会

渡邊 正友*

第6回日本臨床検査学教育学会学術大会が、平成23年8月17日(水)~19日(金)の3日間、新潟大学医学部保健学科において開催されました。この度の学術大会は、3月11日に起こった未曾有の東日本大震災と原発事故の発生により、大会中は節電対策としてクールビズ服装での参加に協力をいただきました。

日本臨床検査学教育学会は、昭和34年の2年制衛生検査技師教育が開始されて以来、今年4月で創立満52周年を迎えました。また、日本臨床検査学教育協議会が平成18年に法人化されてからの学術大会の開催は第6回を迎えました。臨床検査技師教育が新たな時代に入っている今日、新時代に対応できる教育体制を視野に入れ、この度のメインテーマを、「新時代の飛翔」としました。サブテーマとしては4年制大学や大学院課程設置の増加など、教育環境の変化を鑑み「臨床検査技師教育と研究のネットワーク構築」を掲げました。現在76校ある臨床検査技師養成施設のなかで、46校が大学教育、そして5校が短期大学、25校が専門学校の教育であります。また大学院教育にも力が入れられております。一方、臨床検査業務の高度化も進んでおり、これからの臨床検査技師は日常検査の遂行のみならず、新しい臨床検査法や診断法の開発を担う人材、そして診療現場における管理職を担う人材などの育成実現のために各養成機関が、ネットワークを密にすることへの重要性について、本学術集会では議論を深めていただきました。



写真1 学術大会長(渡邊正友)

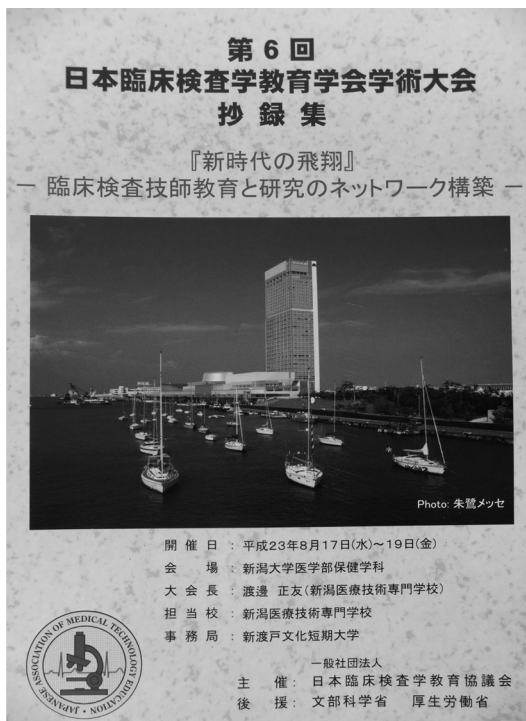


写真2 抄録集の表紙

*新潟医療技術専門学校 mwatanab1215@ma.tlp.ne.jp



写真3 実行委員の皆さん

第1日目は特別講演、教育講演があり、夕方には日本臨床検査学教育協議会式典、引き続き学会会員懇親会を行いました。特別講演では元新潟大学学長の荒川正昭先生から、これまでの研究成果をまとめられた「食事と運動による生活習慣病の克服」と題して講演をいただきました。最近は、子どもにおいても生活習慣病が話題となるなど、誰もが考えなければならない健康問題の解決策について述べられ、臨床検査技師教育における健康教育の視点からも今後の指針になるものでありました。

教育講演は2題行われ、新潟大学大学院の岡田正彦先生から「検査医学におけるエビデンスとは？」と題して統計データを見る際に着目すべきポイントなど具体的な例を挙げられ、分かりやすい講演をいただきました。また、長岡技術科学大学の上村靖司先生からは「中越地震の経験を東日本大震災の復興に」と題して、先生ご自身が経験された新潟中越地震から学ぶ復興経験を、先の東日本大震災の復興にどのように生かすことができるかについて講演をいただきました。

教育協議会の式典はホテルイタリア軒で行われ、三村邦裕 理事長、渡邊正友 大会長、そして来賓挨拶に文部科学高等教育局医療技術係長 吉田将路様、歓迎の挨拶に吉川恵次 新潟医療技術専門学校校長、感謝状は弘前大学大学院の木田和幸先生に贈呈されました。その後の会員懇親会は木村明 副大会長の司会に始まり、多数の出席者で盛況かつ有意義な懇親会となりました。

2日目のランチョンセミナーでは医歯薬出版株式会社から後援をいただき、社団法人新潟県労働衛生医学協会常務理事で産業カウンセラーの大西金吾先生から「こころの時代ストレスとの上手なつきあい方」と題してユーモアを交えながら日常生活におけるストレスの対処法について講演をいただきました。また、学会指定講演には世界に感動を与えた“なでしこジャパン”のチームドクターをされていた昭和医療技術専門学校校長の山藤賢先生から世界一になったチームの“あきらめない”“精神的な強さ”から学んだことを、子どもの学校教育に如何に生かしていくかについて講演をいただきました。

一般演題は学会 2・3 日目に発表が行われました。会員校 76 校(国立 21 校、公立 6 校、私立 49 校)の皆様のご協力で 78 題の演題数でありました。内容も教育分野の多岐にわたり充実しておりました。学生の発表もあり、教員と学生による活発な議論が交わされました。

教員研修は学会 2 日目に行われ、第一部に半藤厚司先生(新渡戸文化短期大学)から「学生の臨地実習における事故及びヒヤリ・ハット事例の分析と対策」についての具体的な事例講演が行われた後、第二部にシンポジウム「これからの学生教育について」と題して市野直浩(藤田保健衛生大学)、澤田浩秀(神戸常盤大学)、谷口 薫(山陽女子短期

大学)、小林隆志(東洋公衆衛生学院)、藤原直士(新潟大学)の 5 名の先生方から、それぞれの考え方と取り組み状況を述べていただき参加者全員と熱心に議論を深めていただきました。

最後になりますが、この学術大会は一般社団法人日本臨床検査学教育協議会主催であり、協議会の目的とする学術大会開催の重要性にご賛同、ご後援いただきました文部科学省と厚生労働省の両省に厚く御礼申し上げます。また、ご協賛いただいた関係諸団体に感謝申し上げるとともに、医歯薬出版株式会社におかれましてはランチョンセミナーでの後援をいただき重ねて御礼申し上げます。